

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.11
for Windows
インストールガイド

© 2026(Apr) NEC Corporation

- はじめに
- 製品導入の事前準備
- 本製品のインストール
- 本製品のアンインストール
- 本製品のアップデートインストール
- 本製品のダウングレードインストール
- 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.03	新規作成
2.0	2016.03	Microsoft .NET Framework のダウンロード先 URL を追記
3.0	2017.04	バージョンアップに伴い改版
4.0	2018.04	バージョンアップに伴い改版
5.0	2018.06	商標の記載の修正
6.0	2019.04	バージョンアップに伴い改版
7.0	2020.04	バージョンアップに伴い改版
8.0	2021.04	バージョンアップに伴い改版 動作要件の内容修正 インストールの内容修正 インストール先のデフォルトフォルダーを変更
9.0	2022.04	バージョンアップに伴い改版
10.0	2023.04	バージョンアップに伴い改版
11.0	2024.04	製品の 64bit 化に伴い、デフォルトインストールフォルダーを変更
12.0	2025.04	バージョンアップに伴い改版
13.0	2026.04	バージョンアップに伴い改版

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows (以後、ProcessSaver と記載します) のインストール方法について説明します。

(1) 商標および登録商標

- ✓ CLUSTERPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1.	はじめに	1
2.	製品導入の事前準備	2
2.1.	準備するもの	2
2.2.	動作要件	3
3.	本製品のインストール	6
3.1.	インストール	6
3.2.	インストール後の確認	11
3.3.	ファイル構成	13
4.	本製品のアンインストール	14
4.1.	ファイルのバックアップ	14
4.2.	アンインストール	15
5.	本製品のアップデートインストール	17
5.1.	アップデートインストール	17
6.	本製品のダウングレードインストール	18
6.1.	ダウングレードインストール	18
7.	注意・制限事項	19
7.1.	ダウングレードインストールにおける注意事項	19

1. はじめに

本書は、ProcessSaver のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『Create Pfile』は、Pfile を作成する画面です。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「9. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の前後	【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥【Pfile 名】
[]	項目名の前後 タブ名の前後	[ProcessSaver Console] を選択してください。 [Create Pfile] タブを選択してください。
太字	機能名	MsgCheckInterval を設定してください。
斜体、太字	ボタン名 チェックボックス名	OK を押してください。 LocalUser にチェックしてください。

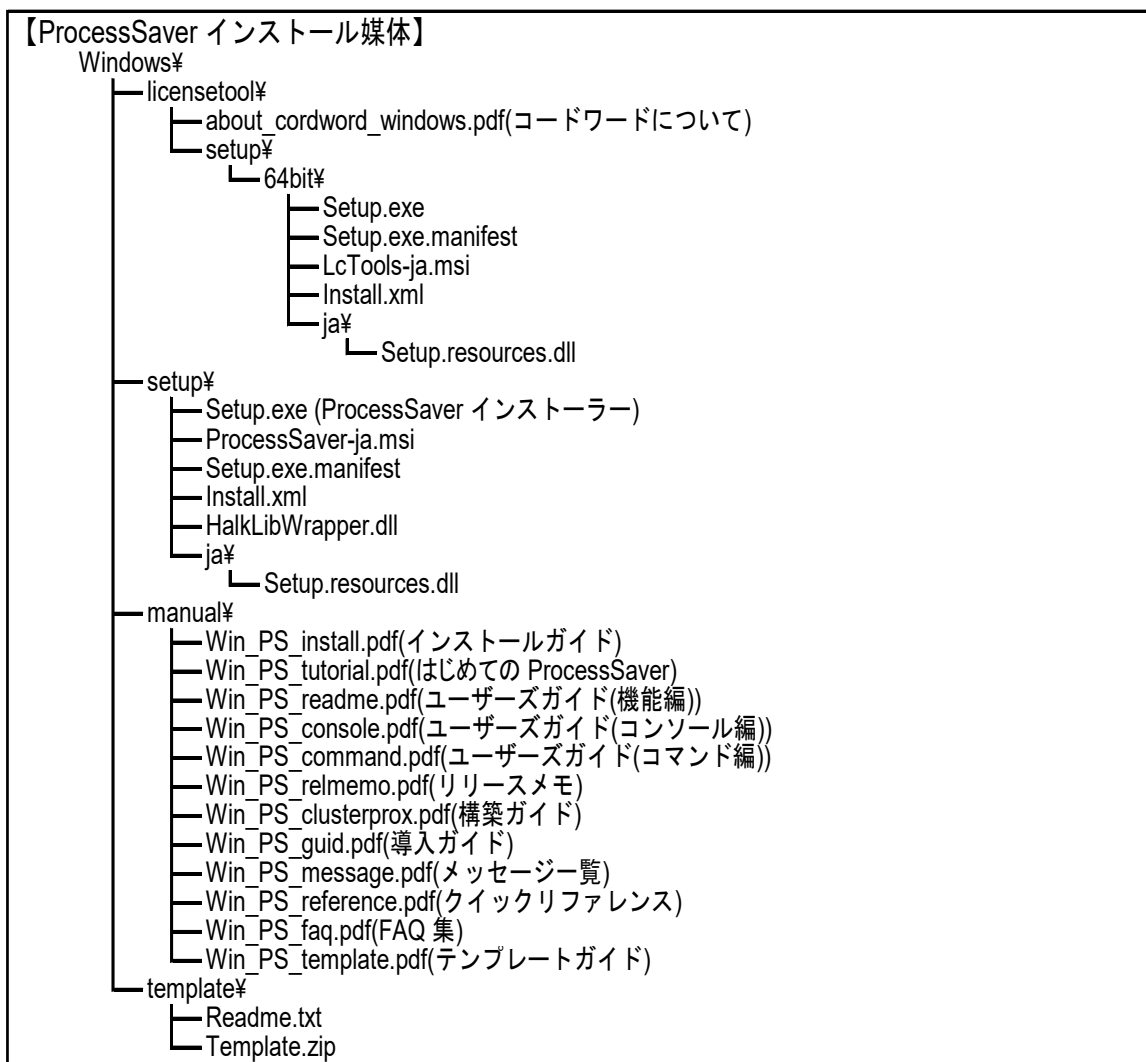
2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。

本製品のインストーラーおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



2.2. 動作要件

- (1) ソフトウェア要件
本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。
本製品を導入する場合は、事前に [サーバー マネージャー] の [機能の追加] よりインストールされていることを確認してください。

・Microsoft .NET Framework のインストール状態の確認手順

[スタート] メニュー - [管理ツール] - [サーバー マネージャー]

上記手順で、[サーバー マネージャー] が表示されるので、[役割と機能の追加] を選択してください。

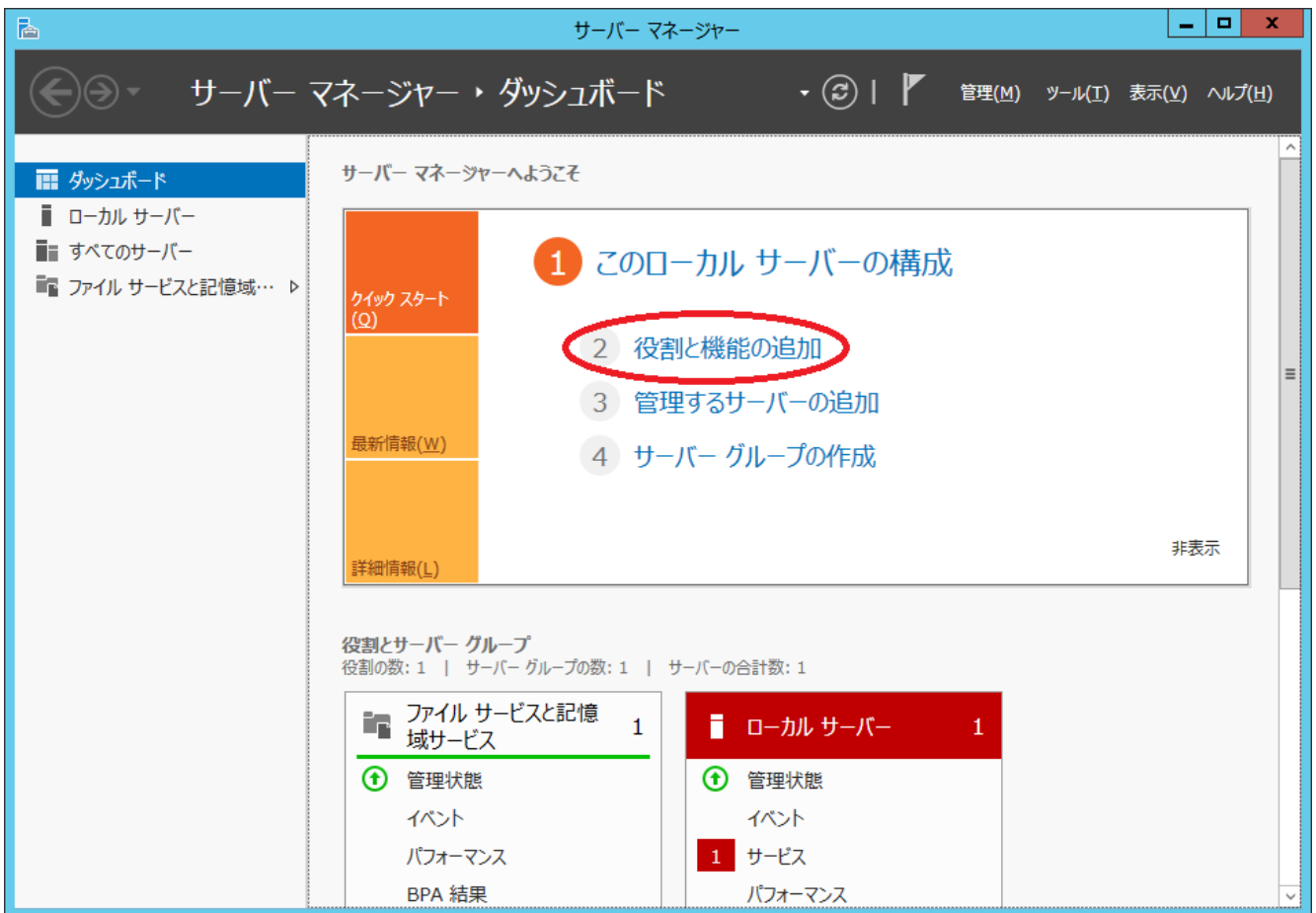


図1 サーバー マネージャー画面

インストールされている.NET Framework は、
[役割と機能の削除ウィザード] で確認できます。
[役割と機能の追加ウィザード] - [開始する前に] 画面で、[機能]を選択すると、
下記画面が表示されますので、確認してください。

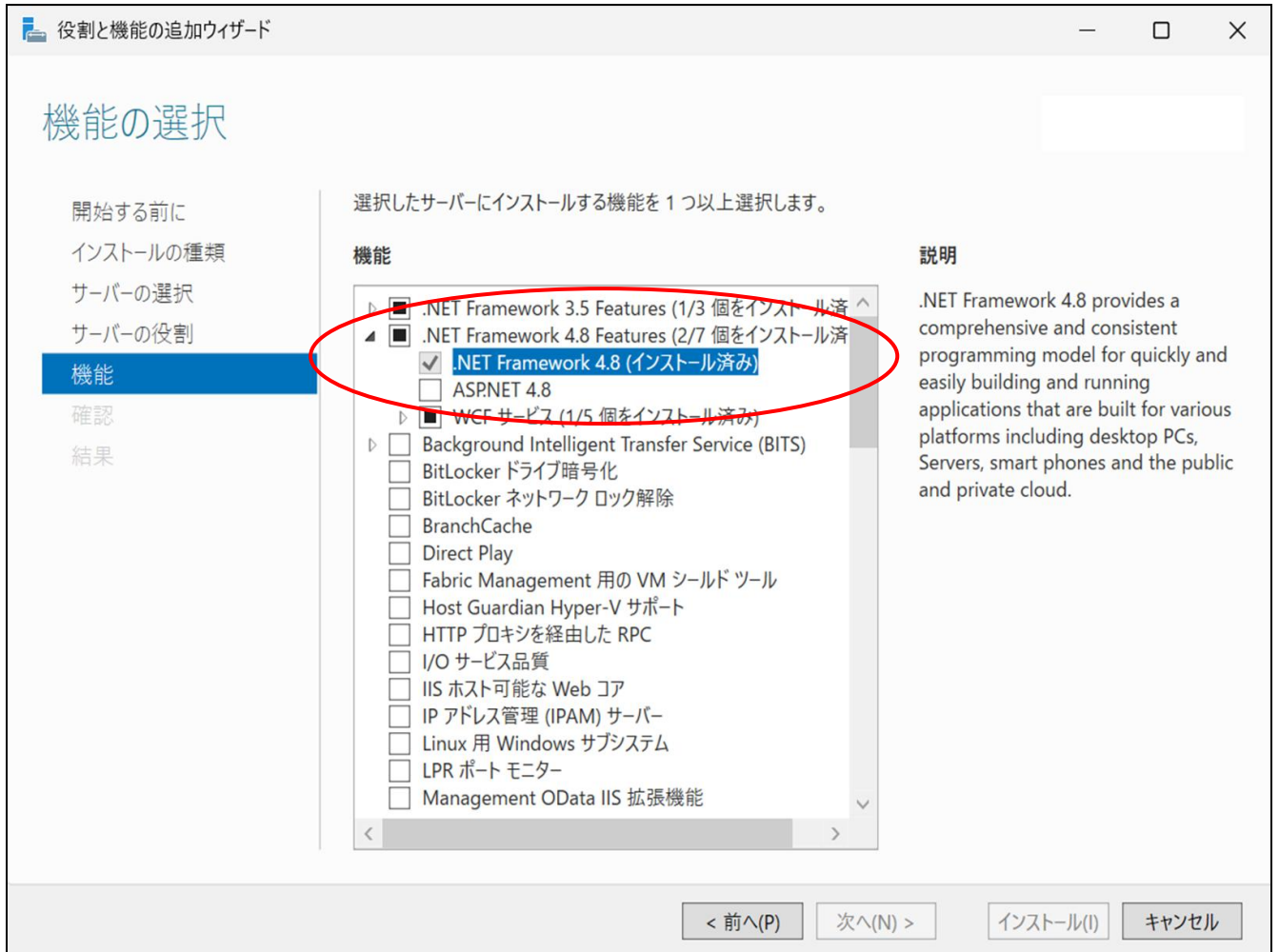


図2 役割と機能の追加ウィザード

※上記は .NET Framework 4.8 の場合の図です。

3. 本製品のインストール

3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

-
- 注意
- ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
 - ・本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。
事前にインストールされていることを確認してください (「2.2 動作要件」(1) を参照)。
 - ・インストール前にライセンスツールのインストールを行ってください。
 - ・コードワードの登録を行う場合、「コードワードについて」を参照してください。
 - ・ProcessSaver は、64bit で動作しますので、ライセンスツールのインストールに使用する【Setup.exe】は、64bit 用を使用してください。
-

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1.のインストール媒体の構成図」を参照してください。
実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。

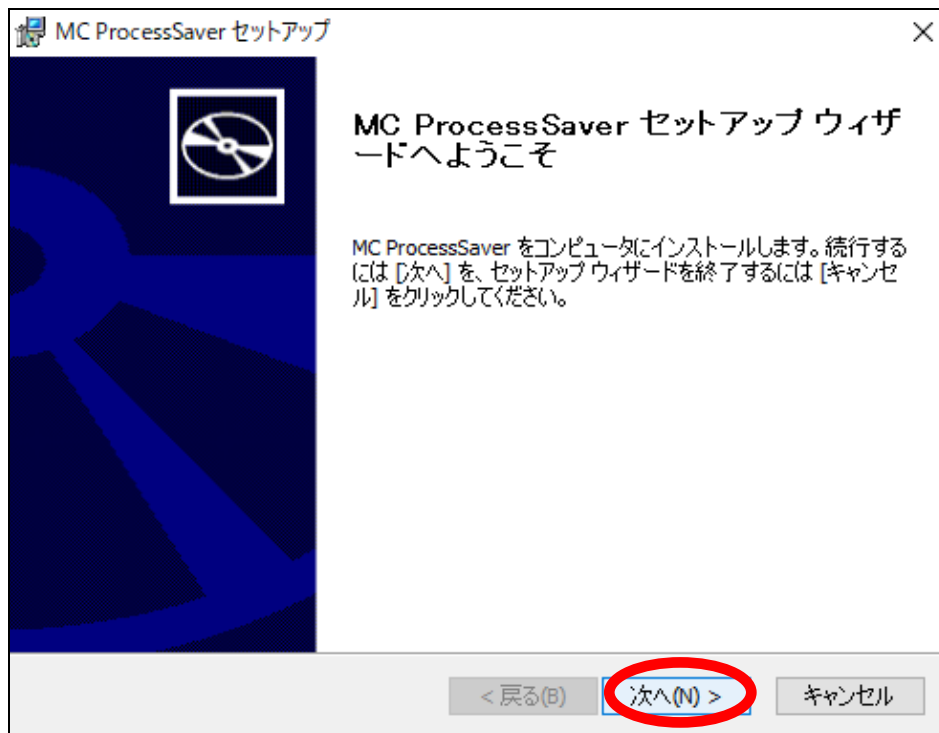


図3 インストーラー準備画面

-
- 注意 Microsoft Windows Server 2025 以降において Setup.exe を実行した際、セットアップ画面起動と同時に Windows Terminal が起動する場合がありますが、インストールに影響はありません。起動した Windows Terminal は無視してインストール手順に従ってセットアップ画面を操作してください。
なお、インストール終了後に Windows Terminal は自動で終了します。
-

- (3) インストール先のフォルダーを指定します。
指定したフォルダー配下に “HA¥ProcessSaver” が付加されて各ファイルがインストールされます。
デフォルトのインストール先ドライブは、最も空き容量の大きいドライブです。
通常は、“C:¥Program Files” です。

デフォルトのままでもかまわない場合は、**次へ(N)** を押してください。

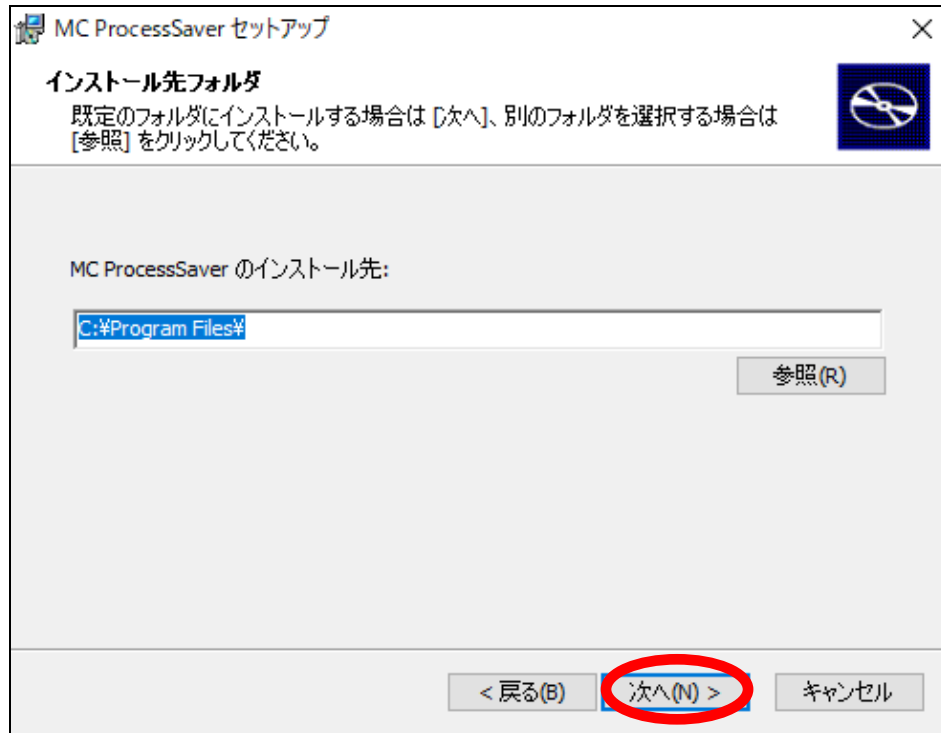


図4 インストール先のフォルダー表示画面

インストール先を変更する場合は、**参照(R)** を押してください。
下記画面が表示されます。
インストールするフォルダーを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

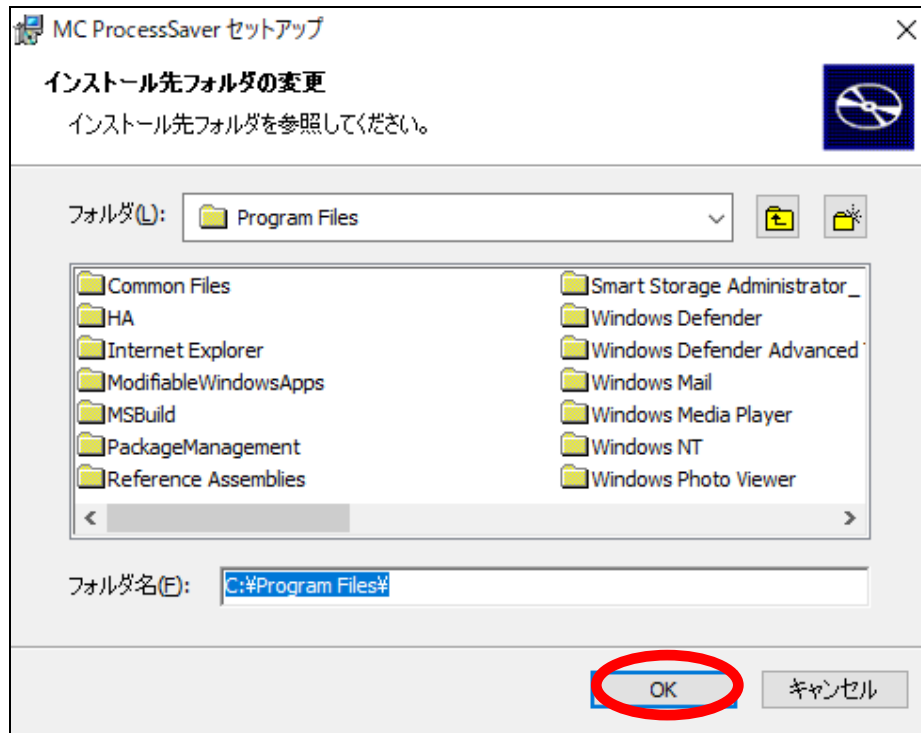


図5 インストール先のフォルダー変更画面

注意 インストール先のフォルダーには、ネットワークドライブ上のフォルダーは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダーを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

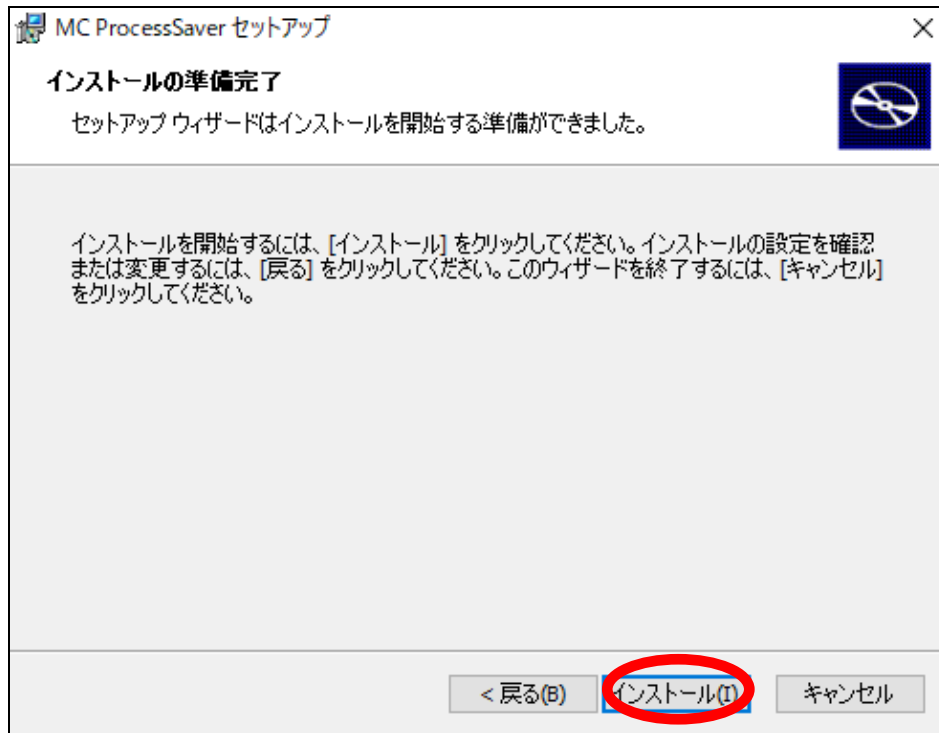


図6 インストール開始画面

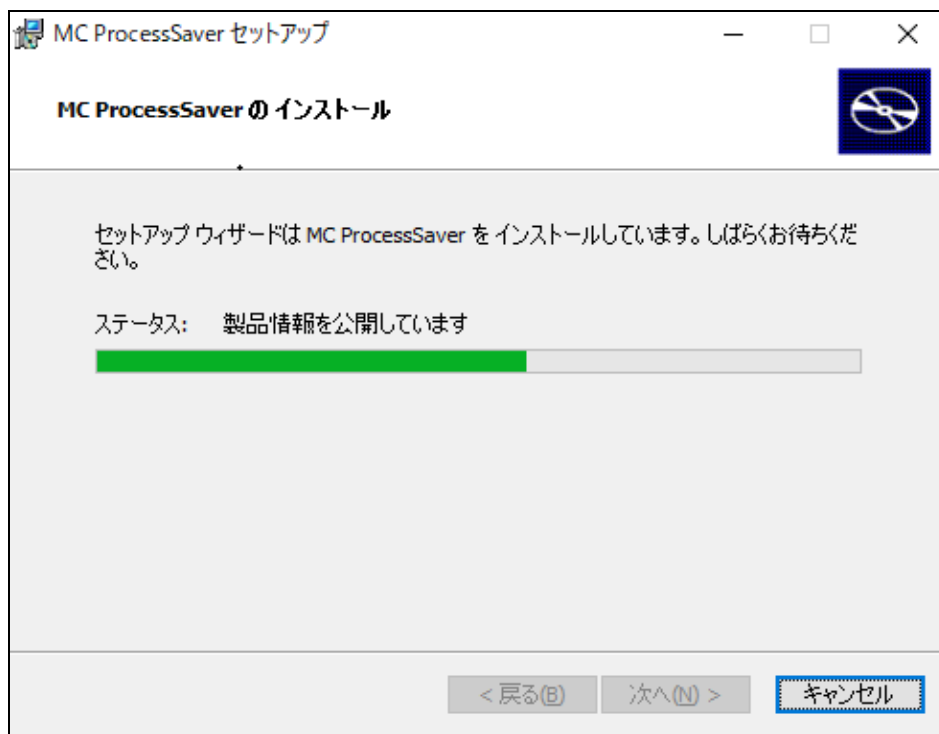


図7 インストール中の状態

- (5) ProcessSaver のインストールが完了すれば、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して画面を終了してください。

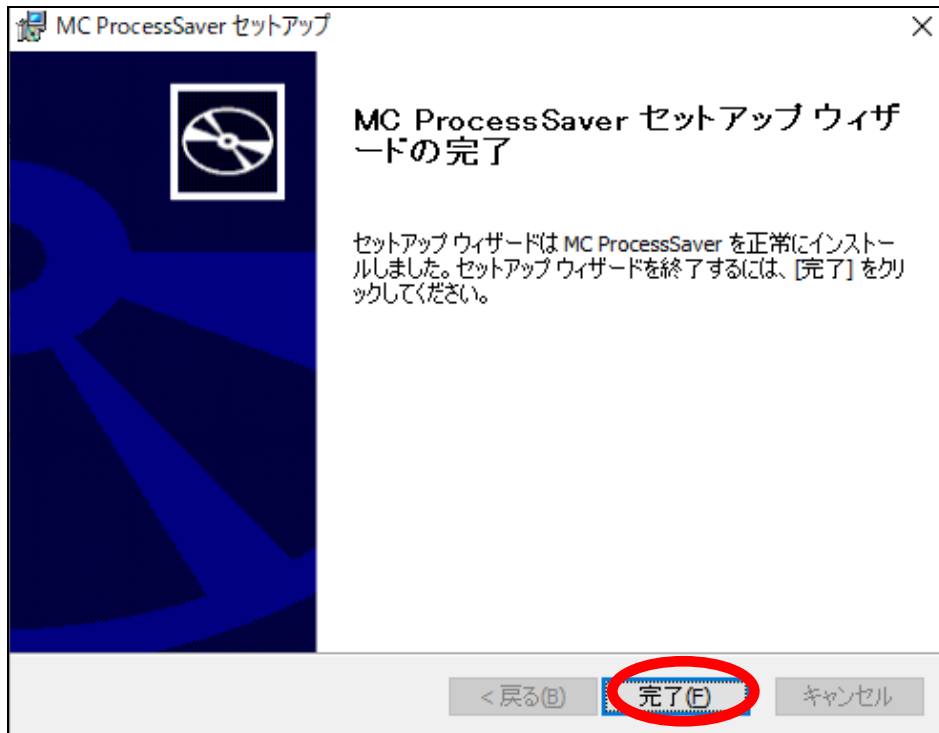


図 8 インストール完了画面

インストール後にコードワードを登録する場合、以下のメッセージが出力されます。
OK を押してください。

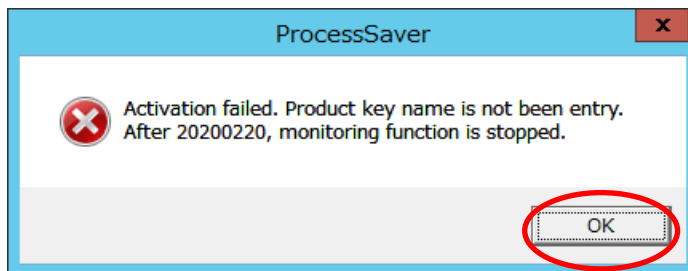


図 9 猶予期間中メッセージ

注意 上記はコードワードの登録が確認できないため、YYYYMMDD 経過後に ProcessSaver の機能を制限することを示すメッセージです。
機能制限については、「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows ユーザーズガイド(機能編)」の「5. 機能制限について」を参照してください。

本メッセージが出力された場合、コードワードを登録してください。
手順は「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows リリースメモ」の「2.2.2. ソフトウェアパッケージのインストール後にコードワードを登録する方法」を参照してください。

以上で、本製品のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムの追加と削除』で本製品がインストールされていることを確認してください。
スタートメニューから [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を選択し、下記画面を表示してください。
一覧に [MC ProcessSaver] が登録されていることを確認してください。

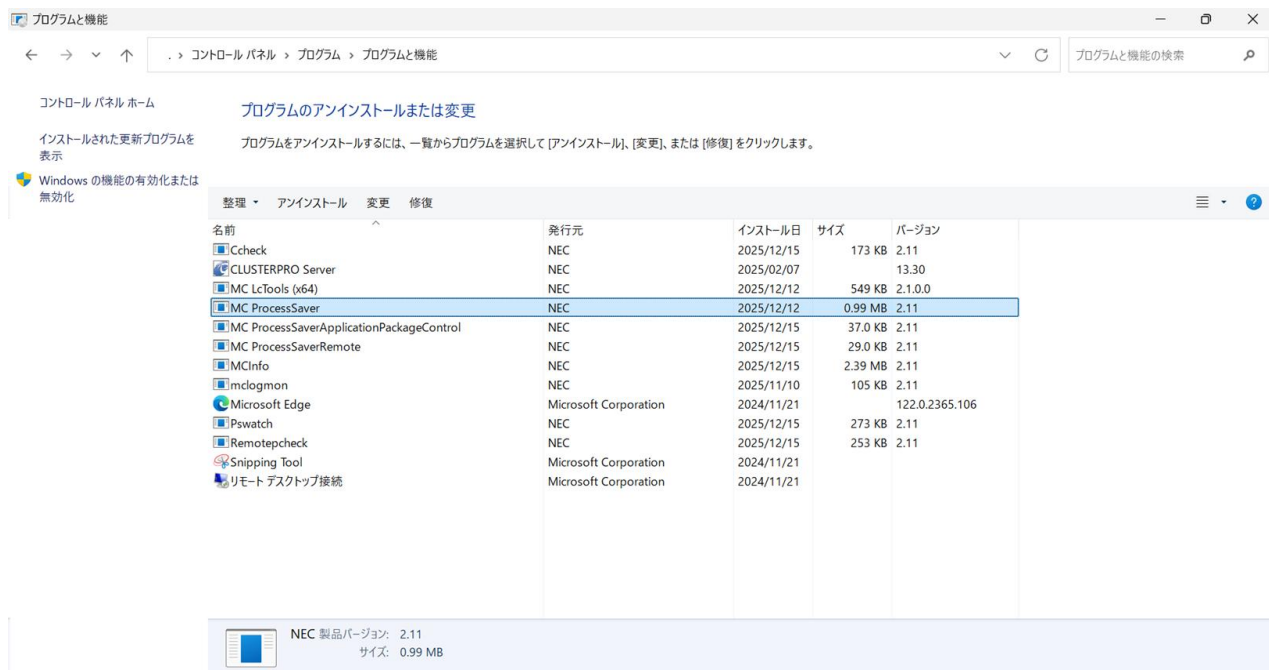


図 10 『プログラムと機能』

(2) 『サービス』に本製品のサービスが登録されていることを確認してください。

[スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [管理ツール] → [サービス]

上記手順により、下記画面を表示します。

- ・ [名前]:[HA ProcessSaver]
- ・ [状態]:[実行中]
- ・ [スタートアップの種類]:[自動]

下記画面と同じことを確認してください。

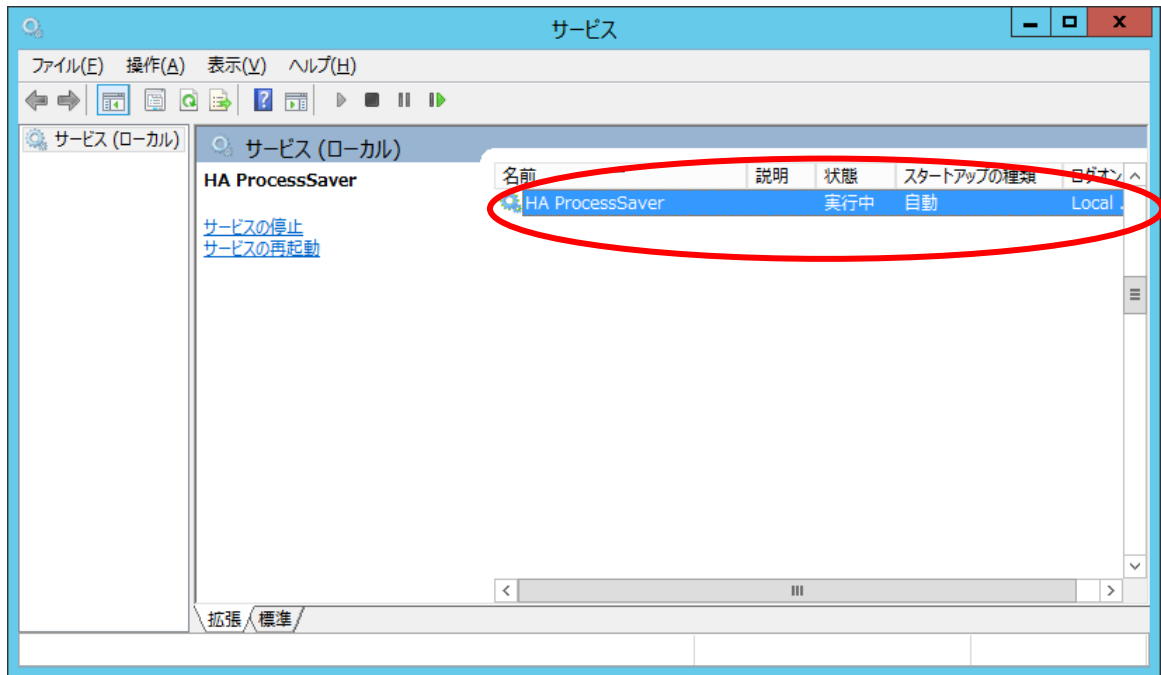


図 11 『サービス』

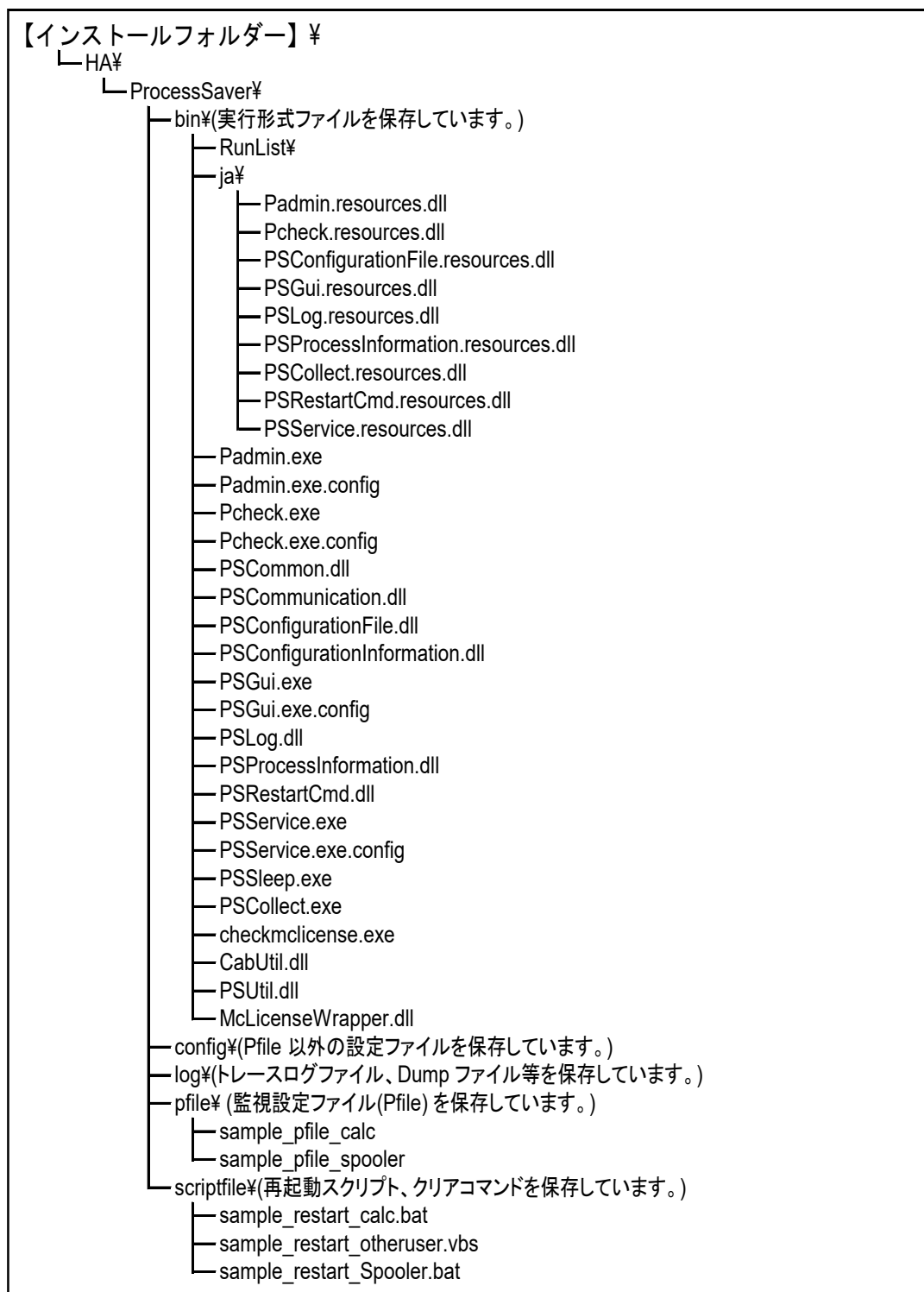
(3) スタートメニュー内にショートカットが作成されていることを確認してください。

[スタート] メニュー → [HA] → [ProcessSaver Console]

※ ProcessSaver の初期設定については、各ユーザーズガイド を参照してください。

3.3. ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。



※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

4. 本製品のアンインストール

4.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやリソースファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

注意 インストール後に作成されたファイルは、アンインストール時には削除されません。

設定/リソースファイル

【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver 配下

・config

pfile 以外の設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイル、Dump ファイル等を保存しています。

・pfile

監視設定ファイル(pfile)を保存しています。

・scriptfile

再起動スクリプト、クリアコマンドを保存しています。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

4.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

注意 アンインストールを開始する前に、動作中の監視プロセスをすべて終了させてください。

- (1) 下記手順により ProcessSaver のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を
選択してください。
- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、[MC ProcessSaver] を選択し、
アンインストール ボタンを押してください。

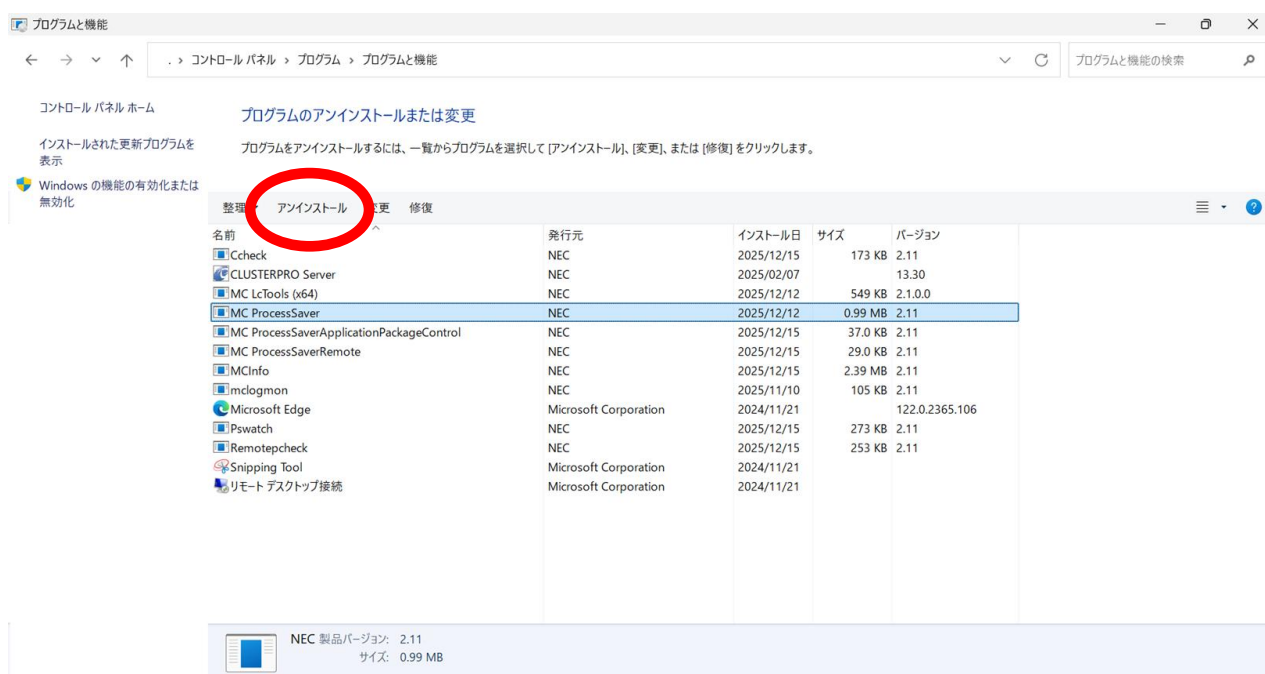


図 12 『プログラムと機能』

- (3) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示されます。
はい(Y) を押すと ProcessSaver のアンインストールが開始されます。

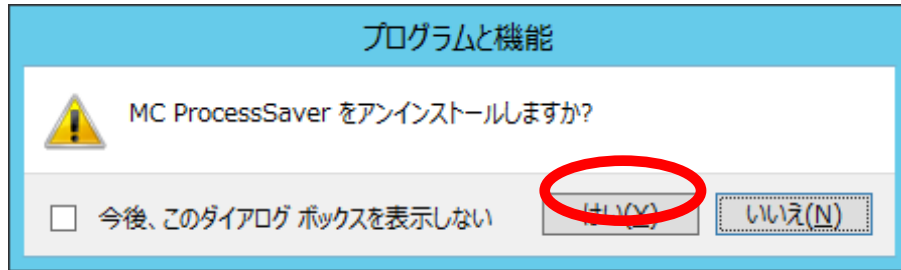


図 13 削除確認画面

- (4) 削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダーおよびファイルのみです。設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。これらのファイル(インストールフォルダー配下) が不要な場合は、削除してください。

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

5. 本製品のアップデートインストール

5.1. アップデートインストール

本製品のアップデートインストール手順について説明します。

注意 ・アップデートインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
・アップデートインストールを開始する前に、動作中の監視プロセスをすべて終了させてください。

- (1) 現在インストールされている ProcessSaver の設定ファイルのバックアップの取得およびアンインストールを実施してください。
手順は「4.本製品のアンインストール」を参照してください。
- (2) アンインストール完了後、インストールを実施してください。
手順は「3.本製品のインストール」を参照してください。
- (3) 本バージョンの ProcessSaver のインストールフォルダーに手順(1)でバックアップしたファイルを適宜配置してください。

設定/リソースファイル

【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver 配下

- config
pfile 以外の設定ファイルを配置します。
- log
トレースログファイル、Dump ファイル等を配置します。
- pfile
監視設定ファイル(pfile)を配置します。
- scriptfile
再起動スクリプト、クリアコマンドを配置します。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

- (4) 設定ファイルの再配置に伴い、監視設定ファイル内の再起動スクリプトのパスなど設定変更が必要な場合は適宜修正してください。

6. 本製品のダウングレードインストール

6.1. ダウングレードインストール

既にインストールされている ProcessSaver よりも前のバージョンの ProcessSaver をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている ProcessSaver を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの ProcessSaver を新規インストールしてください。なお、ProcessSaver のアンインストール手順については「4. 本製品のアンインストール」、インストール手順については「3. 本製品のインストール」を参照してください。

7. 注意・制限事項

7.1. ダウングレードインストールにおける注意事項

既にインストールされている ProcessSaver よりも前のバージョンの ProcessSaver をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている ProcessSaver を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの ProcessSaver を新規インストールしてください。

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.11 for Windows
インストールガイド

2026年4月 第13版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙